

## タスクフォース小委員会とりまとめ

### I. タスクフォースの設置

(社) スポーツ健康産業団体連合会 (以下、「スポ団連」という。) 内に「スポ団連が持つ機能・役割・カバーする領域」及び「今後目指す方向について」を検討するために、平成22年6月11日に開催された第63回理事会において、会員団体、会員企業の中堅幹部を委員とするタスクフォースを設置した。委員は以下のとおり。

(敬称略・五十音順)

座長	板垣 勝男	(社) スポーツ健康産業団体連合会 専務理事
委員	上田 利幸	(株) エバニュー 取締役
〃	加藤 潤	(社) 日本テニス事業協会 事務局長
〃	加藤 誠	(株) ジェイティービー 地域交流ビジネス推進部長
〃	香中 峰秋	(株) 博報堂 ソーシャルビジネス局 局長代理
〃	高崎 尚樹	(株) ルネサンス 取締役 執行役員

### II. 小委員会とりまとめ

タスクフォースに小委員会 (委員はタスクフォースと同じ) を設け、同小委員会において、「スポ団連が持つ機能・役割・カバーする領域と今後目指す方向について」を以下のとおり、とりまとめた。

平成22年10月7日

#### 「スポ団連が持つ機能・役割・カバーする領域と今後目指す方向について」

#### 1. スポ団連が持つ機能・役割・カバーする領域について

(1) スポ団連はスポーツ健康産業に関わる用具提供、場所提供、サービス提供の企業の加盟する団体と各団体の中核企業を中心とした「スポーツ健康産業を横断的に結べる連合体」という特質を有している。また、その強みはスポーツ・健康に係る幅広い団体が横串にあることにある。

(2) スポ団連の役割とカバーする領域は、スポーツ健康産業に関する調査・研究、イベント等の推進、情報の収集・提供による情報発信・政策の提言を通じてスポーツ健康産業の振興を図ることにある。

#### 2. 今後目指す方向について

スポ団連の存在を価値あるものにするために以下の事項に着手すること。

##### (1) 中期的な目標

① スポーツ健康産業界において、広い範囲でのより良いビジネス環境を演出し、産

業そのものが活性化する要因を作り出す。

- ② 社会経済環境の急激な変化で、スポーツ健康産業においてメーカー、中小小売店、その他流通関係に対し適切なアドバイスやマーケティング・データなど活性化支援を行う。(アドバイザー・研究機関を連合会に登録して個別事案は有料にする。)
- ③ 収益の核となる事業を模索し、企画する。
- ④ スポーツを手段としてインダストリープロモーションし、スポーツ健康産業を盛り上げるための事業を検討、企画する。
- ⑤ スポーツをテーマとしたインバウンドは、市町村レベルでの一元的な手配ができないという環境がある。スポ団連は、調査を行いその課題解決のための政策提言をするとともに自らアライアンスの中心になれるような仕組みづくりを検討する。
- ⑥ スポーツジャパン（見本市）の再開については、スポ団連が社会（メーカー、卸・小売、スポーツの場の提供者、消費者等）に明白なニーズがあると判断した場合には、やる意義があるとして検討する。

## （2）短期的な事業

- ① スポーツ健康産業界の活性化の支えとなるスポーツ健康産業振興の活動を行うために関係各省庁及びその関係各団体・組織と連携を図り、スポーツ健康業界の活性化につながる諸活動を引き続き行う。
- ② 地方自治体、商工会議所等と連携してスポーツ健康産業の振興活動を行う。
- ③ スポ団連の存在意義を社会に明らかにするために引き続き、調査・研究、シンポジウム・情報交換会、地域・スポーツ振興賞、市民生涯スポーツ大祭の開催等を通じて情報発信・政策提言（税の軽減要望を含む。）を行う。
- ④ スポーツ健康産業の振興の観点から医療・介護周辺サービス産業において、国民が安心して利用できるサービスの品質や標準的サービスの在り方を研究するために平成 22 年度から「医療生活産業の品質認証」調査事業を開始した。  
本事業は経済産業省委託「医療・介護周辺サービス産業創出調査事業」の一環として、医療生活産業の品質認証制度をスタートさせることを目標に行う事業であることから中長期的な展開が期待できる。
- ⑤ 医療生活産業領域に関し、可能であれば「健康」「スポーツ」に関わる新たな動きである「ロコモチャレンジ」を入り口に、新たなテーマをスポ団連の事業に取り込み、スポ団連の活動強化を図ることも考えられる。パートナー団体は（社）日本整形外科学会、ロコモチャレンジ推進協議会が想定される。
- ⑥ 高度化した情報社会においてスポーツ健康産業界のハブ的（情報交差点的）役割を果たし、多様なスポーツ健康産業情報を発信し、関係者の有効利用促進を行う。
- ⑦ 会員が使いやすく、集うような仕組みづくりを検討する。

- ⑧ 経済産業省の調査研究公募にスポ団連が行うに適したテーマがあれば進んで応募を検討すること。同省サービス産業課とは常に連携を密にし、適宜指導を受ける。
- ⑨ その他

注：「2. 今後目指す方向について」に掲げた事項は、スポ団連の組織の規模・スタッフ人数・年間活動予算その他の要因により実施が困難で、予定どおり遂行出来ないものもあると考えられる。